

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	大分こども心理療育センター 愛育学園 はばたき
------	----------------------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和2年9月29日・30日

③事業者情報

名 称： 大分こども心理療育センター 愛育学園 はばたき	種 別： 児童心理治療施設
代表者氏名： 理事長 藤本 保	定員（利用人数） 30名（17名）
所在地：〒870-0948 大分市芳河原台11番29号	
TEL：097-578-7755	

④総評

◇評価の高い点

○【治療・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。】

治療・支援については、特に、医師との距離を近づけることを基本として、毎週の医師による全児童への診察、心理部門職員と生活部門指導員を児童ごとに配置し、治療方針策定。児相との情報を職員間で共有し随時確認、自立支援計画、児童支援まとめをベースに支援の見直しを実施。支援システムで情報共有を図るなど、治療・支援が関係機関と連携して組織的に行われる体制が整備されている。

○【経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。】

施設長は、幹部職員やミーティングを中心に、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。

○【子どものプライバシー保護に配慮した治療・支援が行われている。】

個別的配慮を要する子どもが多数であり、プライバシー保護等に配慮し治療・支援を行っている。

○子どもの協調性を育むために、地域交流やボランティアの受け入れ、買い物実習等で社会的ルールの習得等の機会を提供したりしながら、日々の生活の中で児童間で落ち着いて生活ができるよう取り組んでいる。

○基本的な食習慣がつくように、食事時に栄養士など職員が立ち会い、個々の子どもに寄り添いながら、支援をしている。また、ユニット調理・調理実習などの支援をし、より家庭的な環境づくりに取り組んでいる。

○基本理念に「協働子育て」を掲げており、施設と家族の信頼関係の構築を最優先に取り組んでおり、担当職員を配置して家族からの相談しやすい環境づくりに取り組んでいる。

◇改善を求められる点

○【中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。】

目標（ビジョン）を実現するために、具体的な計画となることを期待する。

○【必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。】

治療・支援に関わる専門職（有資格の職員）の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画を期待する。

○【安心・安全な治療・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。】

事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行うことを期待する。

○子どもの権利について、「子どもの権利ノート」などを活用して、子ども自身が学ぶ機会を設けたり、職員間で学習する等を通して、基本理念の遵守に取り組んでいくことを期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

開設6年目で2回目となる第三者評価の受審でしたが、全職員を対象とした自己評価を踏まえた施設としての自己評価に対する第三者評価を受審する過程において、施設運営や支援のあり方等を職員が議論し意識する絶好の機会になりました。

また2日間の受審にあたっては、調査員のヒアリングをはじめ様々な視点でのアドバイスもあり大変参考になりました。

今後とも、児童の安心と安全を保障し職員一丸となって子どもの最善の利益を最優先した支援を行うため、今回の受審をこれからの施設運営に最大限活かしていこうと考えています。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）